

データからみたみやぎの健康 概要版

— 令和7年度版 —



宮城県保健福祉部

令和8年3月

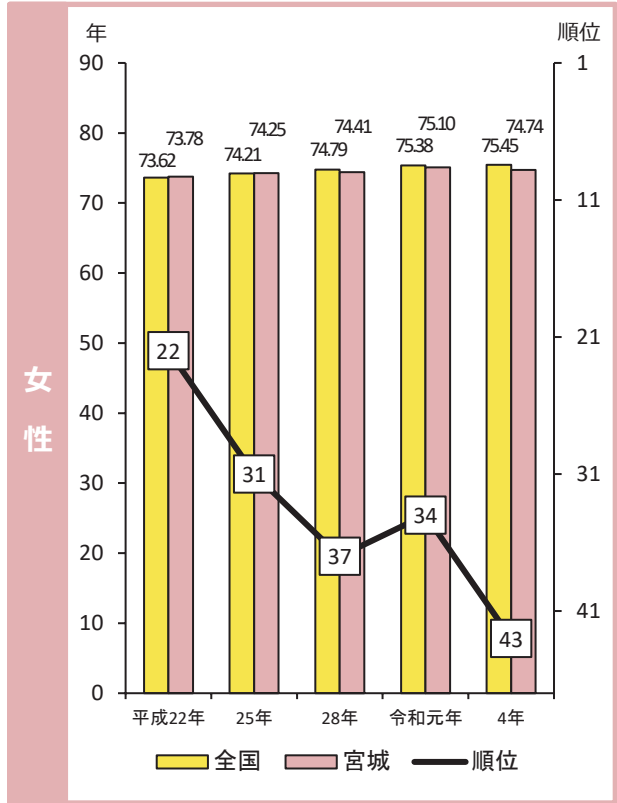
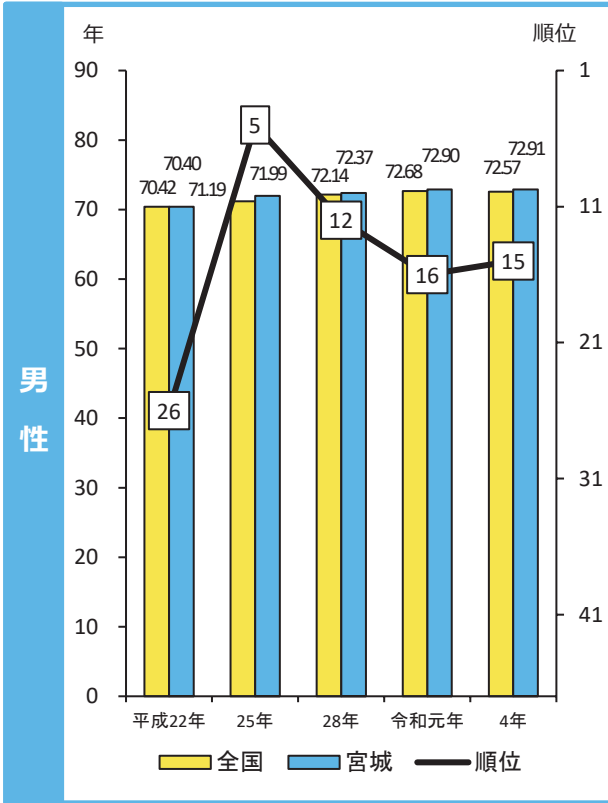
健康寿命

【宮城県の状況】

○宮城県男性の健康寿命は、平成22年は全国より低いが、平成25年、平成28年、令和元年、令和4年はともに全国より高く、全国**15**位。

○宮城県女性の健康寿命は、平成22年、平成25年は全国より高いが、平成28年、令和元年、令和4年はともに全国より低く、全国**43**位。

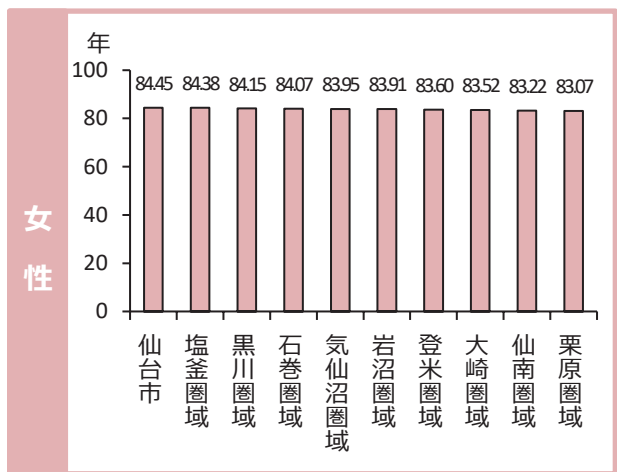
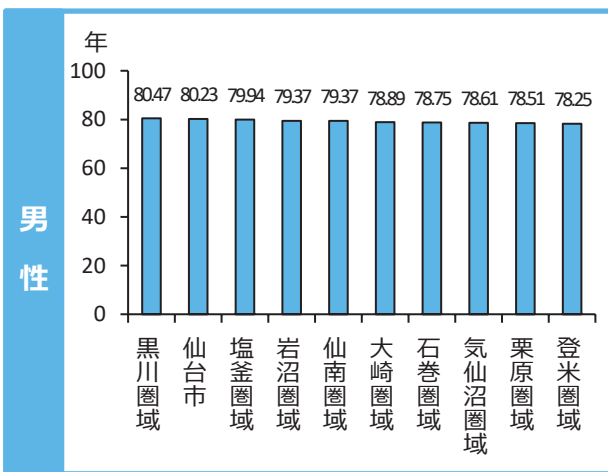
健康寿命の伸び（全国との比較）



資料) 厚生科学研究班算出「日常生活に制限のない期間の平均」

【圏域別の状況】

圏域別健康寿命（令和5年）

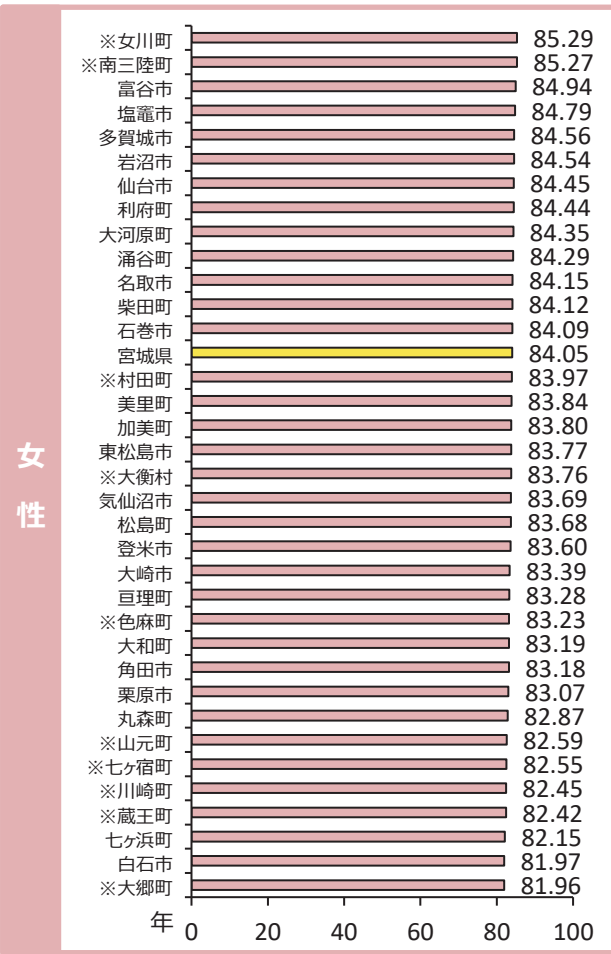
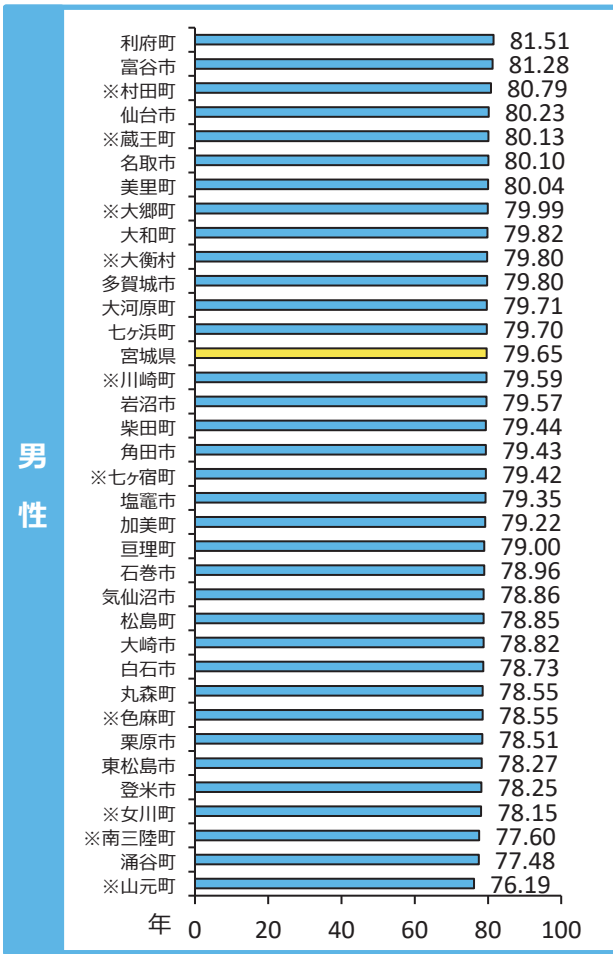


資料) 厚生科学研究班「健康寿命における算定プログラム」に基づき算出

注) 圏域別・市町村別健康寿命は「要介護認定2以上の認定者数」をもとに算出しているため、上記の「日常生活に制限のない期間」をもとに算定した都道府県の健康寿命とは比較できません。

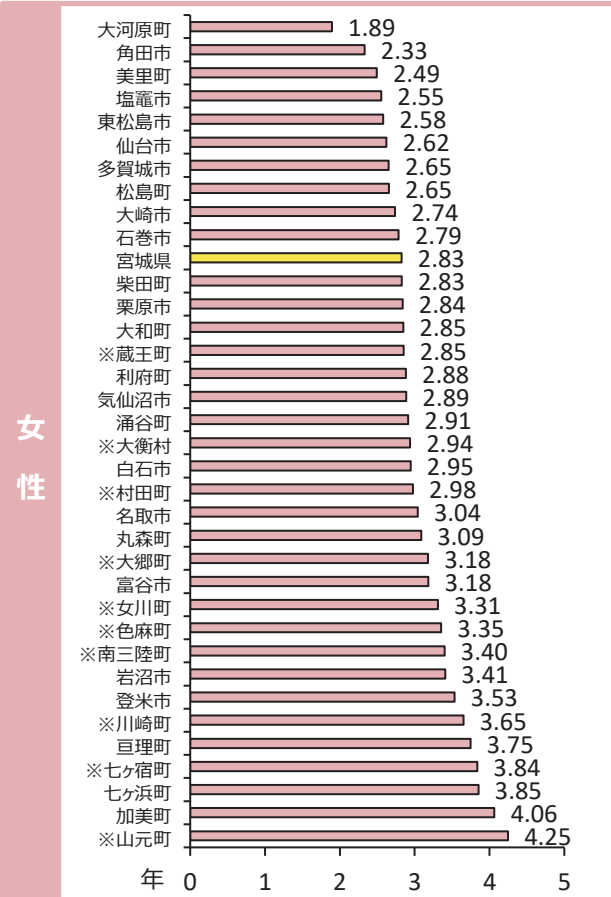
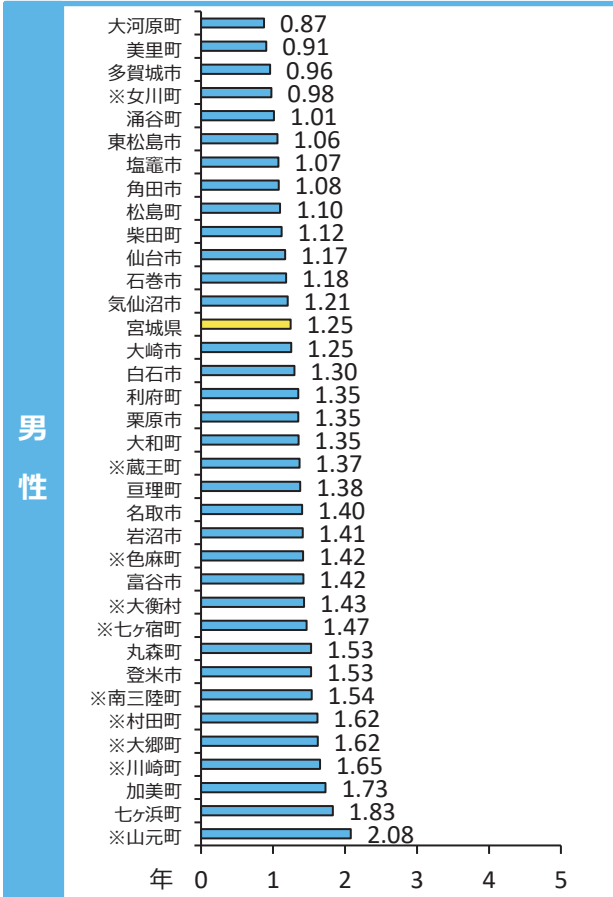
【市町村別の状況】

市町村別健康寿命（令和5年）



※人口1万2千人未満の町村はばらつきが大きいため、参考値として掲載。

不健康な期間（平均寿命－健康寿命）（令和5年）



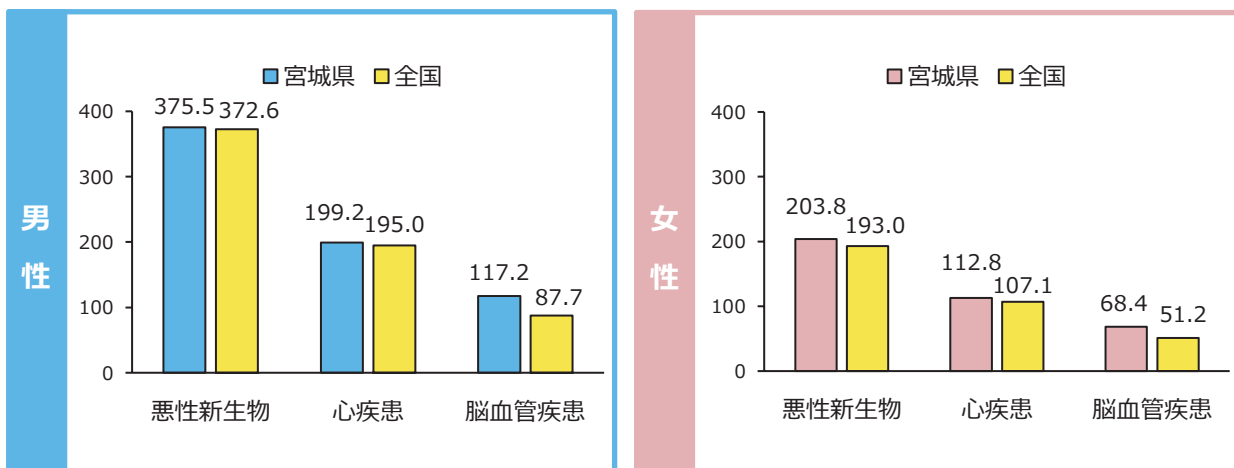
※人口1万2千人未満の町村はばらつきが大きいため、参考値として掲載。

死亡の状況

【宮城県の状況】

○宮城県の主な死因の年齢調整死亡率は、男性および女性において、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患が全国よりも高い。

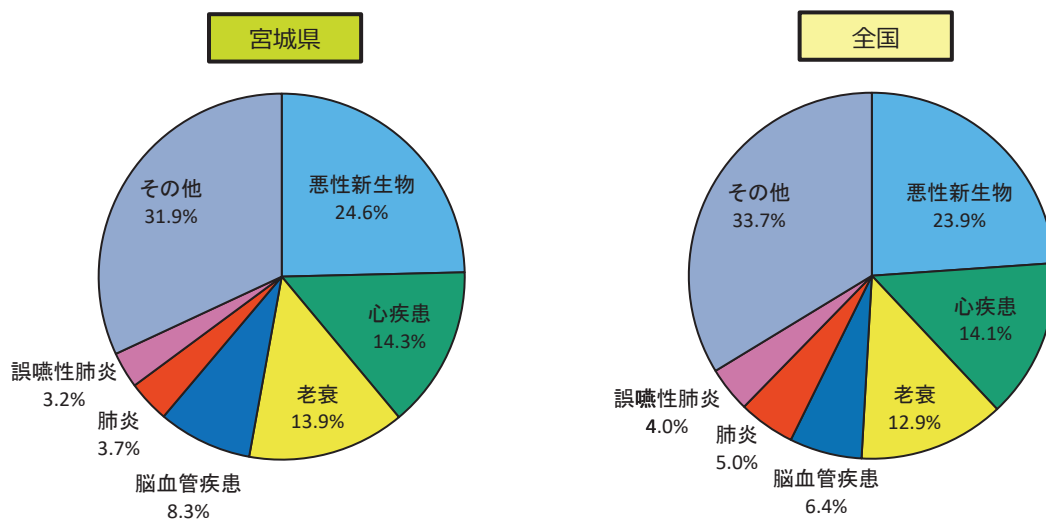
主な死因の年齢調整死亡率（人口10万対）（令和6年）



資料) 宮城県：宮城県健康推進課算出
全 国：人口動態統計（R6）

○宮城県の死亡順位は、1位悪性新生物、2位心疾患、3位老衰、4位脳血管疾患、5位肺炎の順である。
全国でも1位悪性新生物、2位心疾患、3位老衰、4位脳血管疾患、5位肺炎の順である。

死因別死亡割合（令和6年）



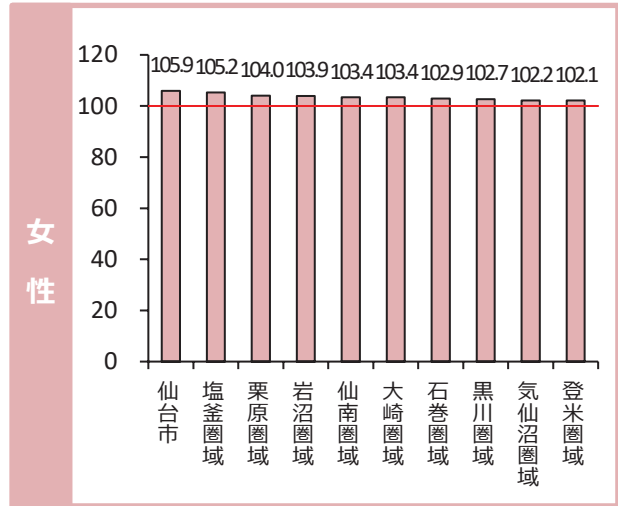
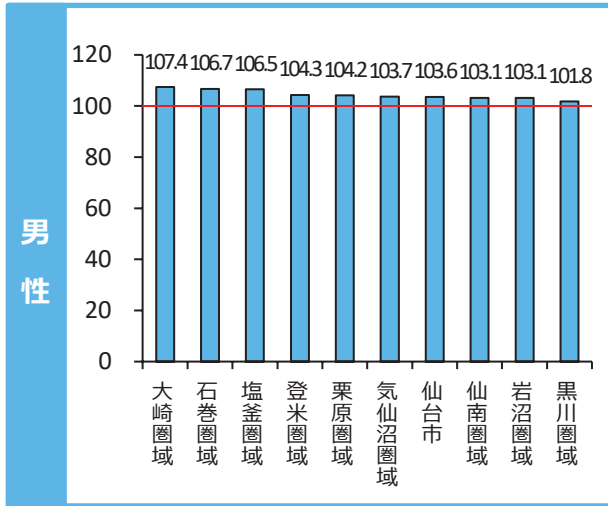
資料) 人口動態統計（R6）の死亡数から算出

※数値は原則として単位未満で四捨五入しているため、合計と内訳の値は必ずしも一致しない。

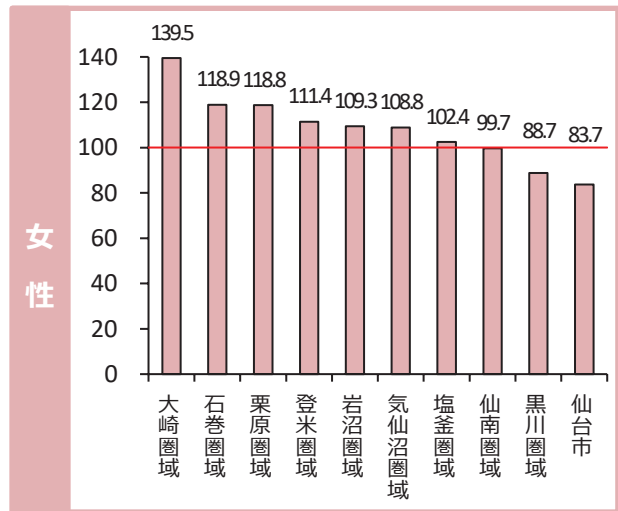
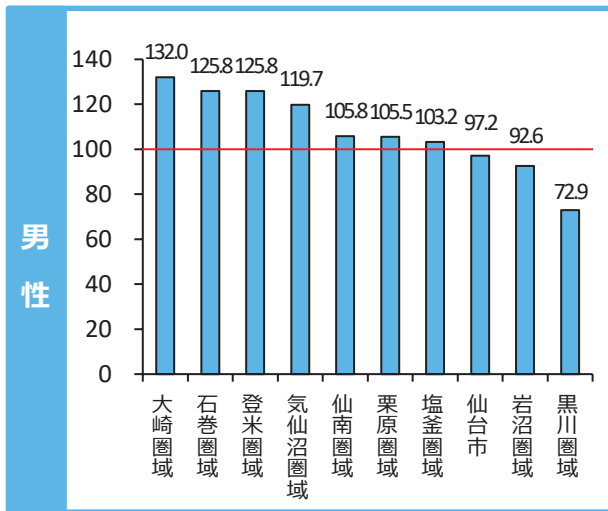
【圏域別の状況】

悪性新生物 標準化死亡比EBSMR(令和5年)

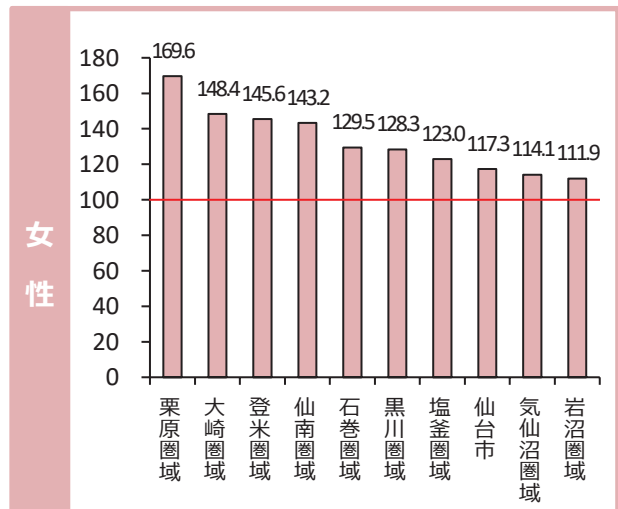
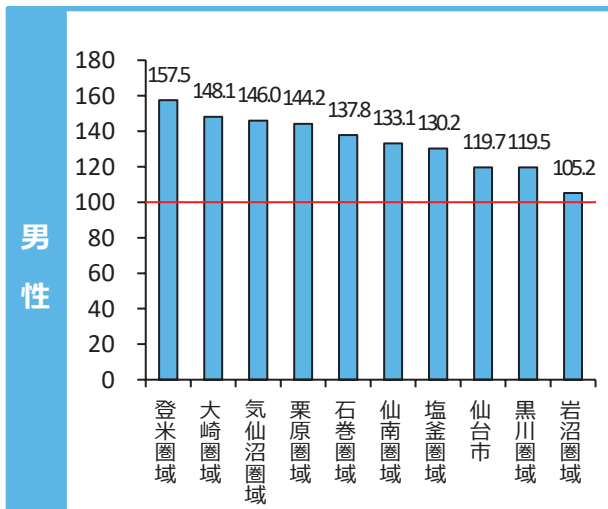
※全国=100



心疾患 標準化死亡比EBSMR(令和5年)



脳血管疾患 標準化死亡比EBSMR(令和5年)



■EBSMR (SMR経験的ベイズ推定値) について

年齢構成の差を取り除き地域の比較を行うための指標として、標準化死亡比 (SMR) がありますが、小地域間の比較や経年的な動向を標準化死亡比で見る場合、死亡数が少ないと数値が大きく変動してしまいます。そのため、観測データ以外にも対象に関する情報を推定に反映させることが可能な「ベイズ推定」を使用しました。全国を100として相対値で表したもので、EBSMRが100より大きい場合、全国平均と比べて出現割合が高いことを示しています。

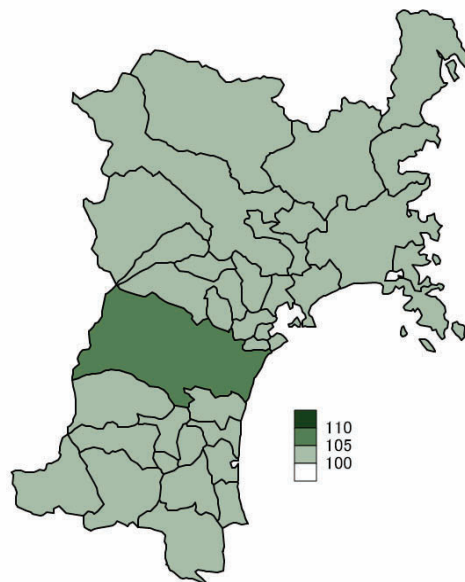
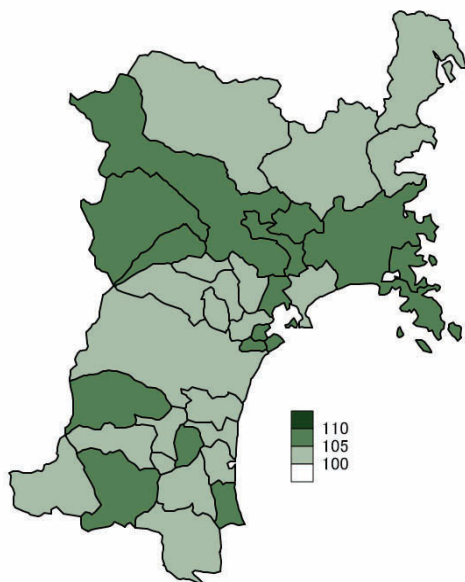
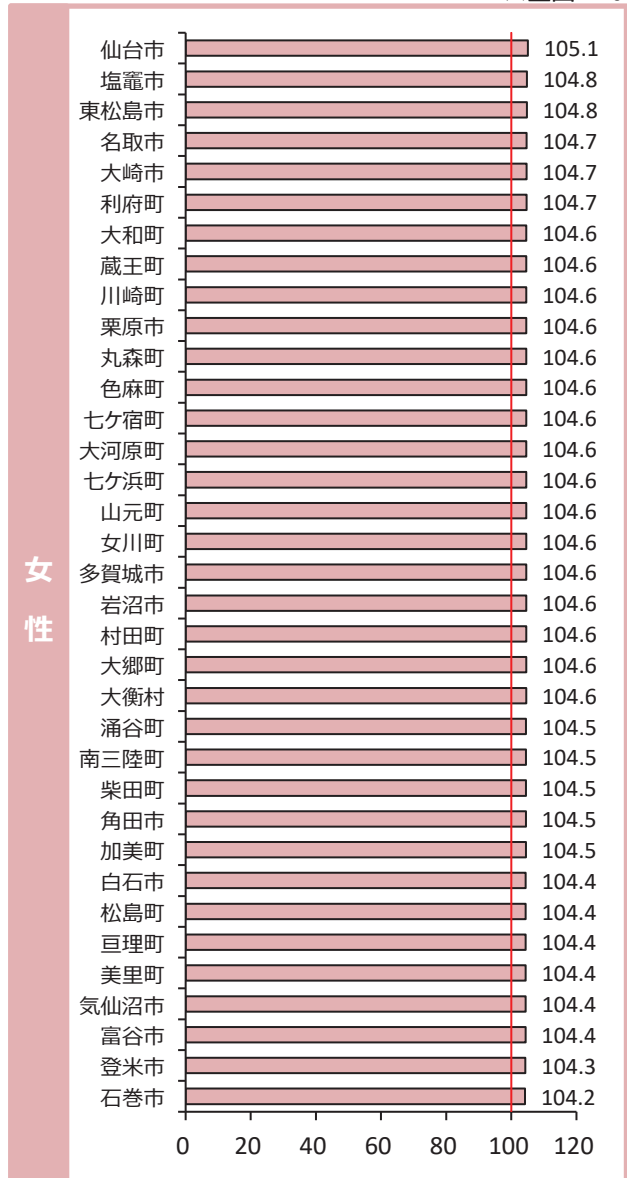
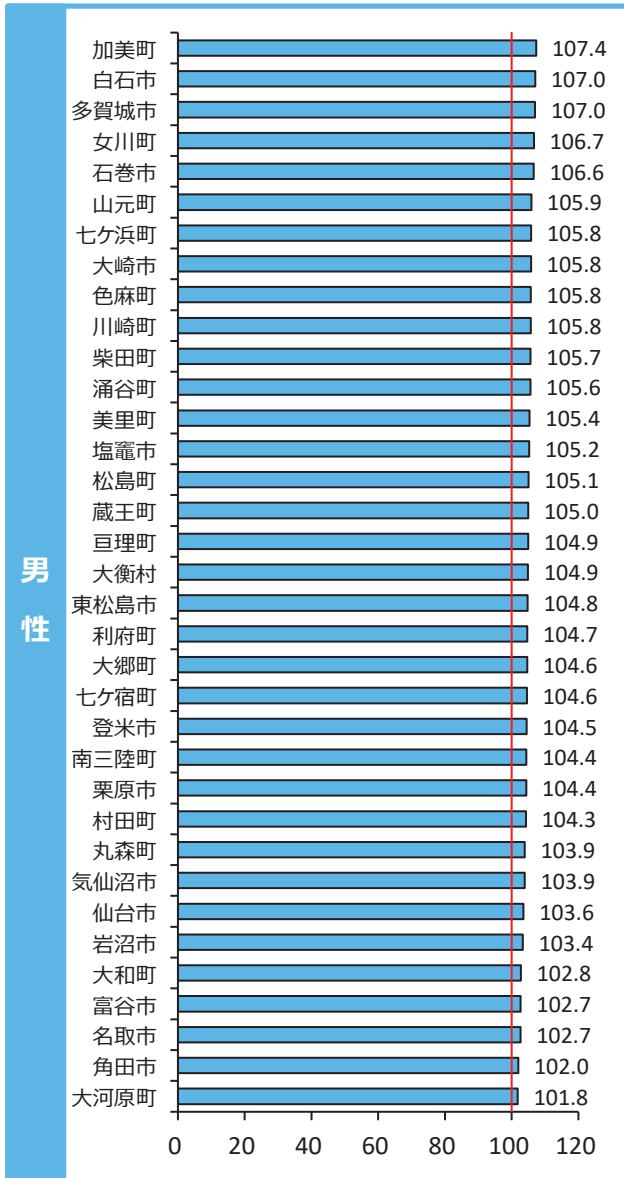
計算：Estimator for Poisson-Gamma model (国立保健医療科学院技術評価部提供)

【市町村別の状況】

○悪性新生物 標準化死亡比EBSMRの最も高い市町村は、男性は加美町、女性は仙台市。

悪性新生物 標準化死亡比EBSMR(令和5年)

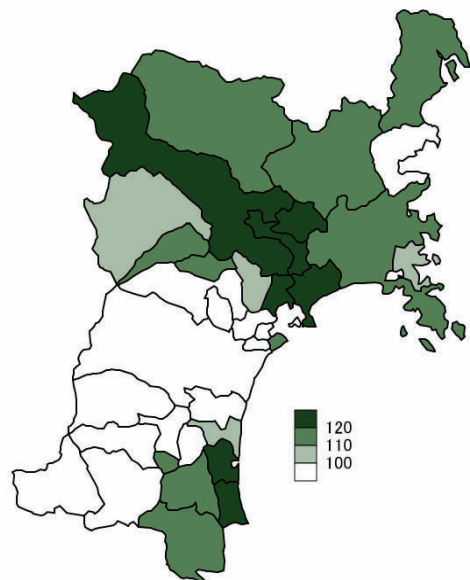
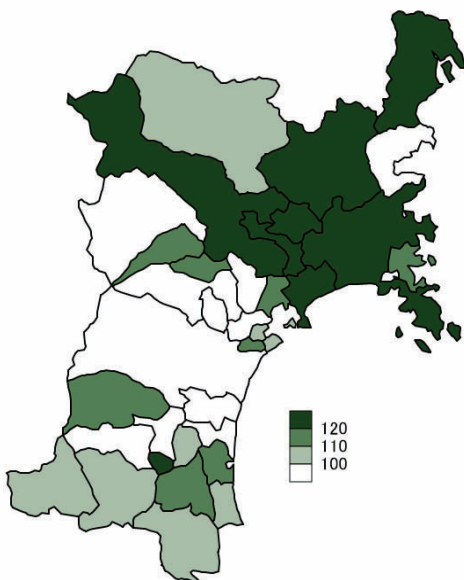
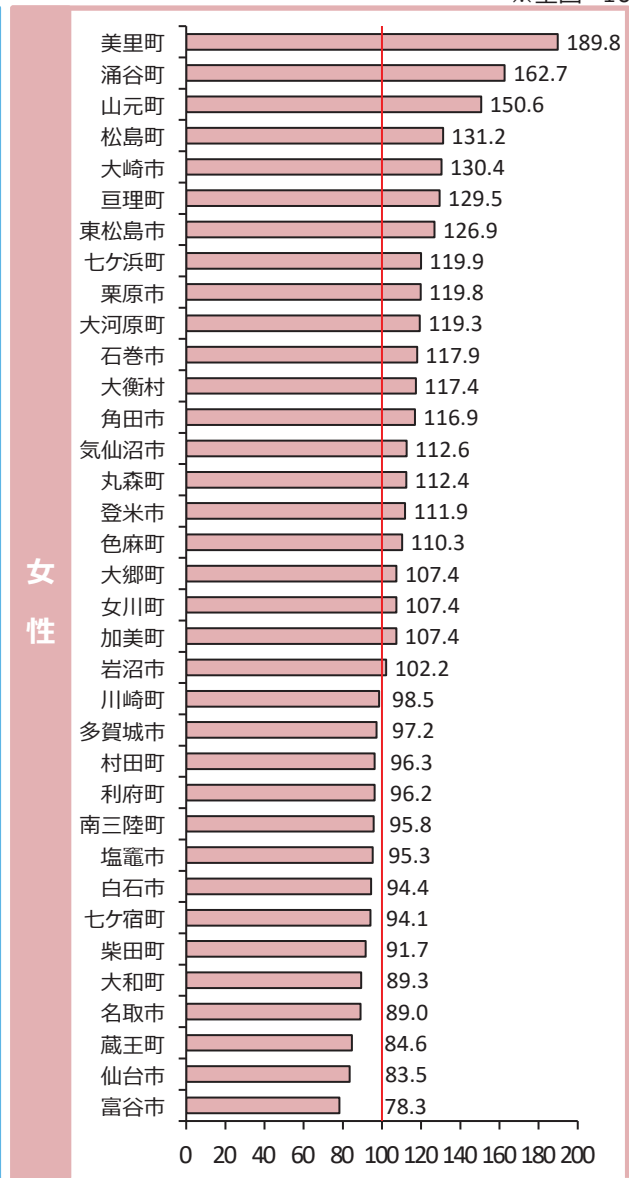
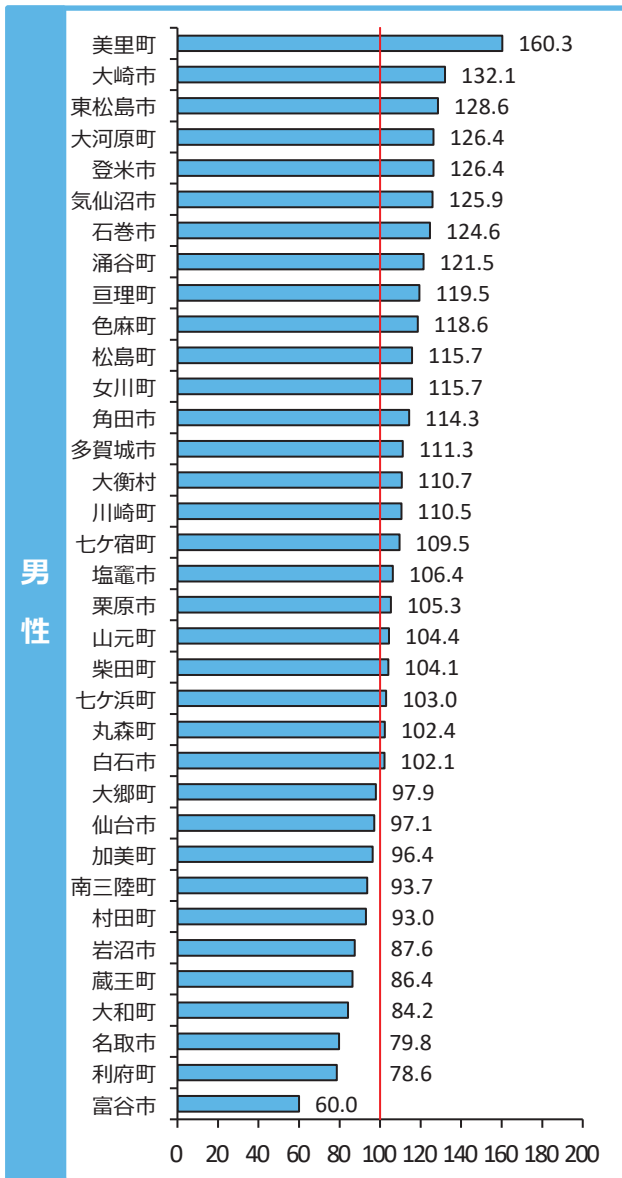
※全国=100



○心疾患 標準化死亡比EBSMRの最も高い市町村は、男女ともに美里町。

心疾患 標準化死亡比EBSMR (令和5年)

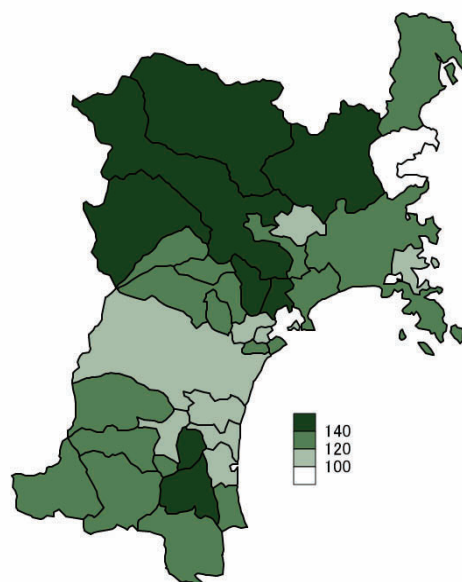
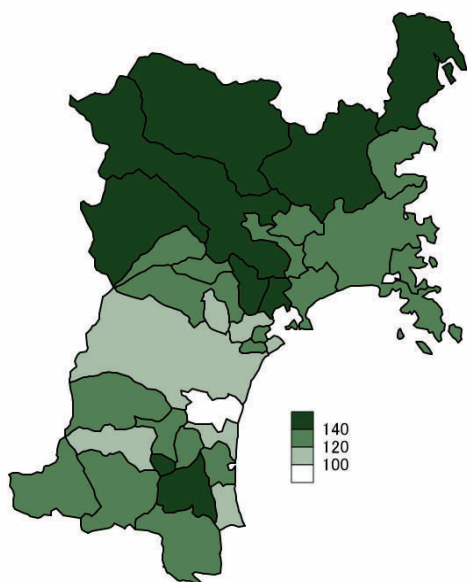
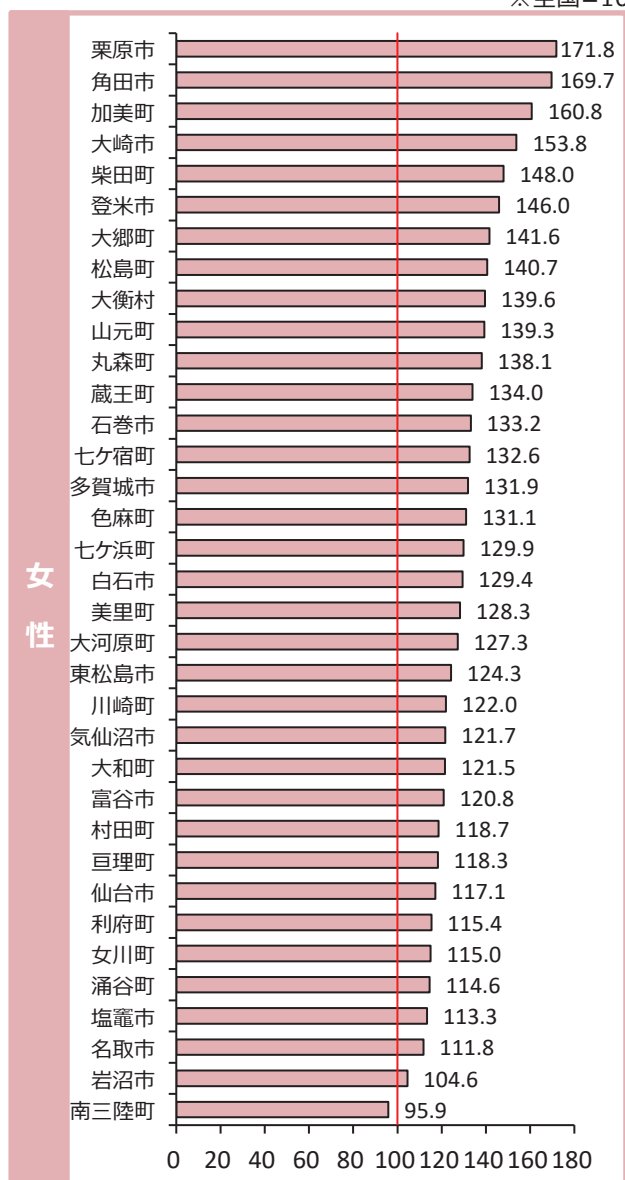
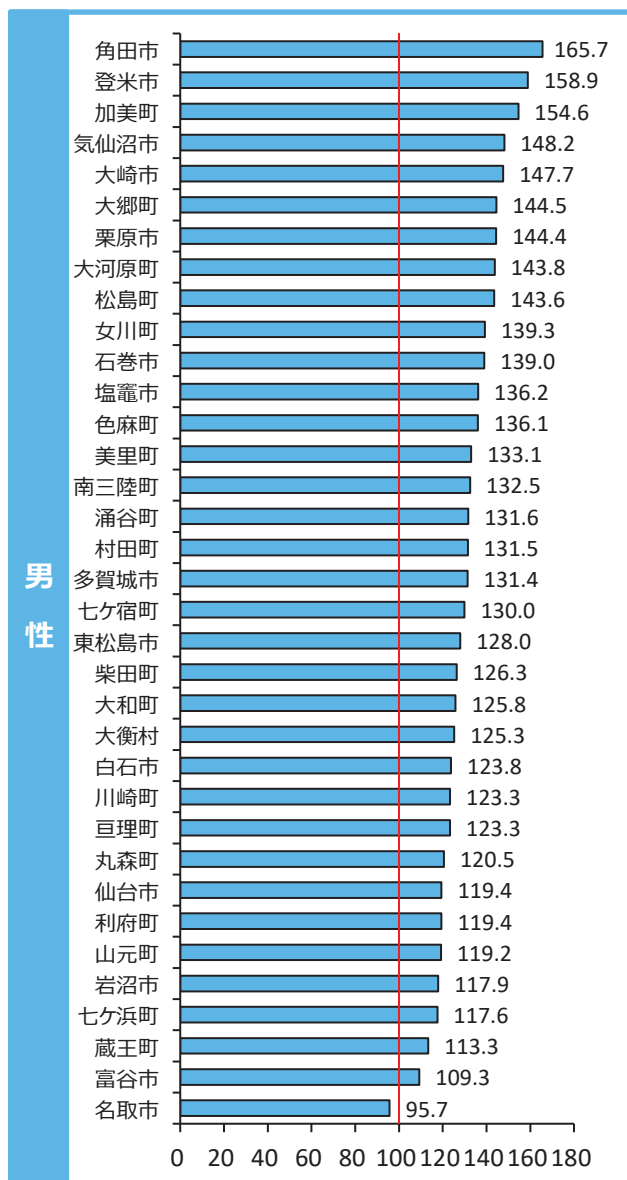
※全国=100



○脳血管疾患 標準化死亡比EBSMRの最も高い市町村は、男性は角田市、女性は栗原市。

脳血管疾患 標準化死亡比EBSMR (令和5年)

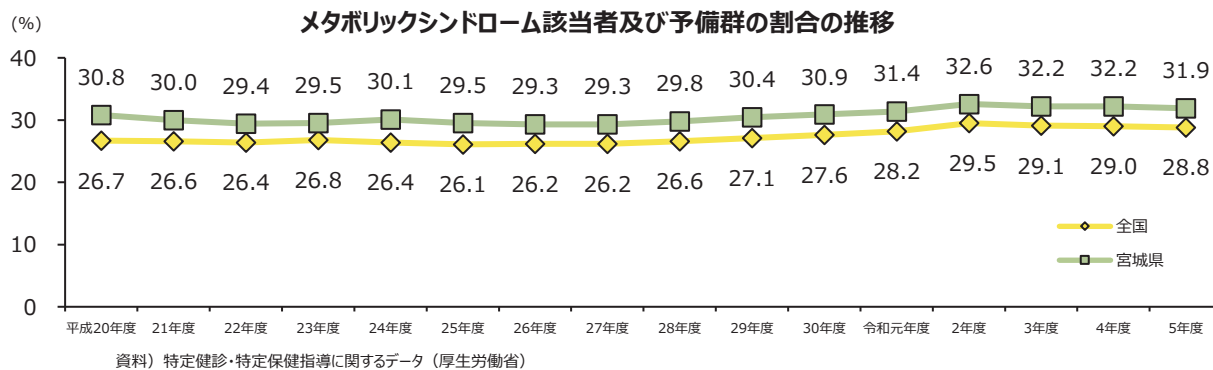
※全国=100



メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合

【都道府県の状況】

○宮城県のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合は、全国より高めに推移し、平成20年度から15年連続でワースト3位以内、令和5年度はワースト4位である。



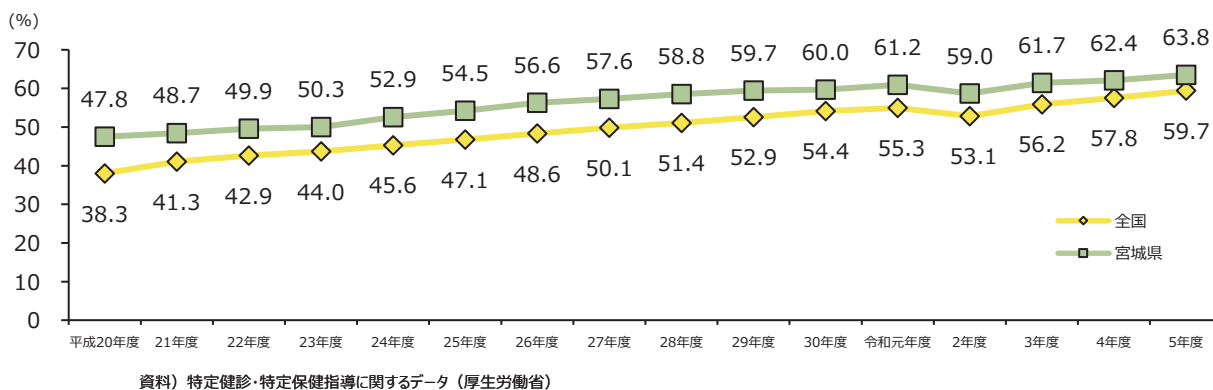
	メタボ予備群(%)			メタボ該当者(%)			該当者+予備群(%)		
	全国	宮城県	順位	全国	宮城県	順位	全国	宮城県	順位
平成20年度	12.4	13.0	9	14.4	17.7	1	26.7	30.8	2
21年度	12.3	12.5	17	14.3	17.5	1	26.6	30.0	2
22年度	12.0	11.9	26	14.4	17.5	2	26.4	29.4	2
23年度	12.1	12.1	24	14.6	17.5	2	26.8	29.5	2
24年度	11.9	12.4	7	14.5	17.7	1	26.4	30.1	2
25年度	11.8	12.6	4	14.3	16.9	2	26.1	29.5	2
26年度	11.8	12.2	11	14.4	17.0	3	26.2	29.3	3
27年度	11.7	12.1	13	14.4	17.2	2	26.2	29.3	3
28年度	11.8	12.2	13	14.8	17.6	2	26.6	29.8	3
29年度	12.0	12.3	13	15.1	18.1	2	27.1	30.4	2
30年度	12.2	12.4	14	15.5	18.5	2	27.6	30.9	2
令和元年度	12.3	12.8	9	15.9	18.7	3	28.2	31.4	2
2年度	12.7	12.8	19	16.8	19.8	2	29.5	32.6	2
3年度	12.5	12.5	19	16.6	19.7	2	29.1	32.2	2
4年度	12.4	12.4	18	16.7	19.9	3	29.0	32.2	3
5年度	12.2	12.2	22	16.6	19.7	3	28.8	31.9	4

資料) 特定健診・特定保健指導に関するデータ (厚生労働省)

特定健診有所見者の状況

【特定健診受診率の推移】

○宮城県の特定健診受診率は、全国より高めに推移し、平成20年度から15年連続でベスト4位以内、令和5年度は7位である。

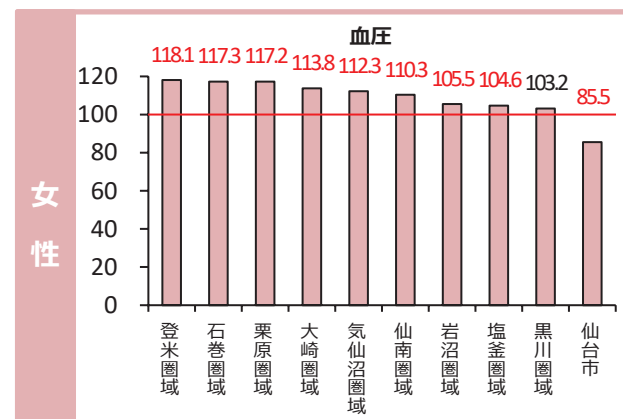
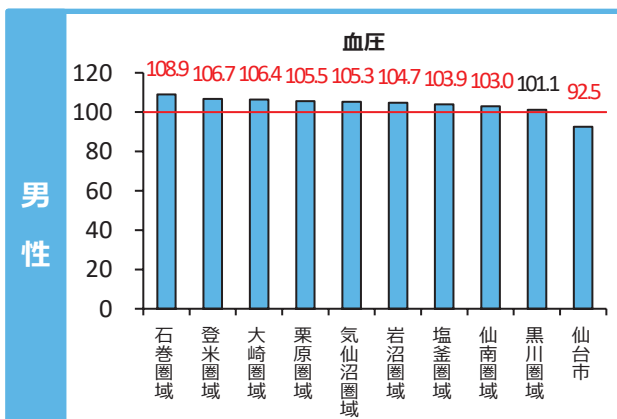
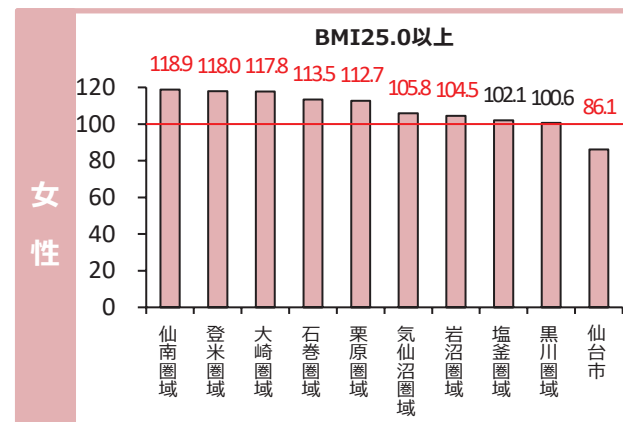
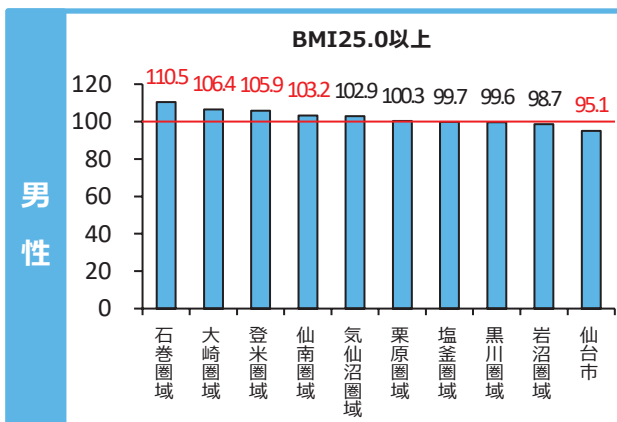
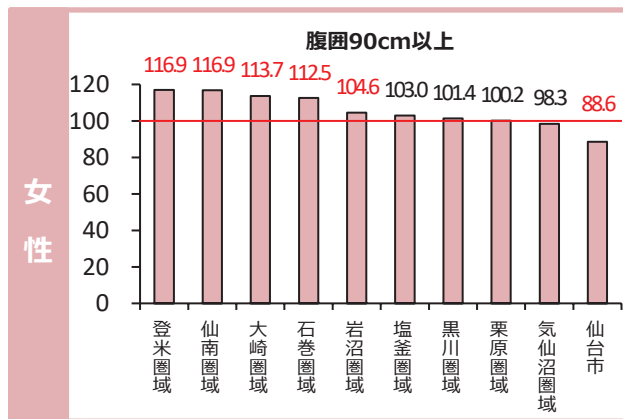
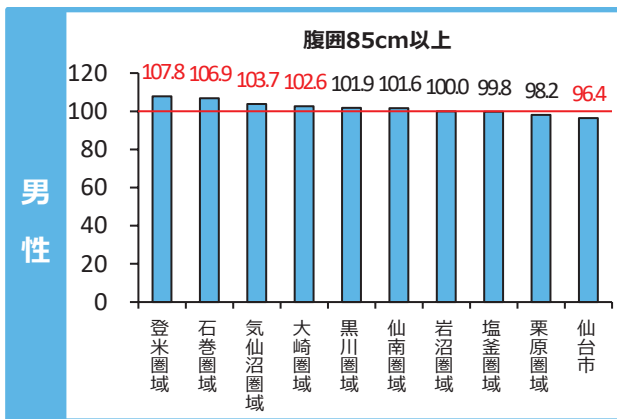
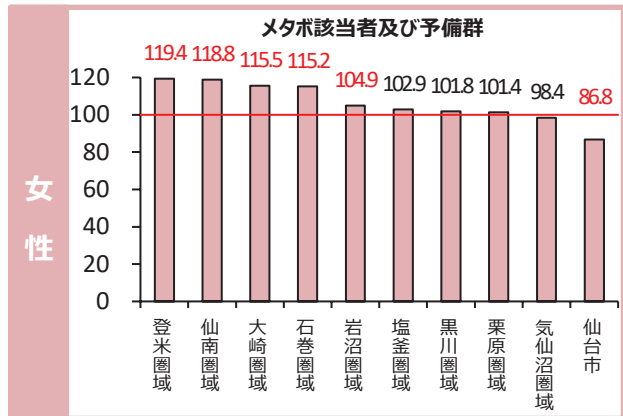
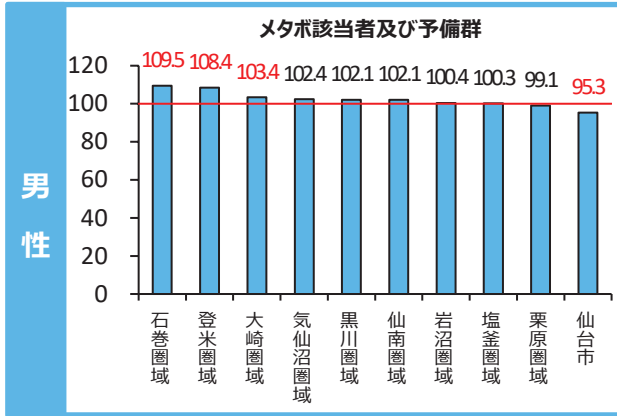


○有所見者の圏域別、市町村別の状況は次のページから記載しています。

【圏域別の状況】特定健診有所見者

標準化該当比：男女別【市町村国保+協会けんぽ】（令和5年度）

※40-69歳



基準値 収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上

※赤字は有意であることを示しています。

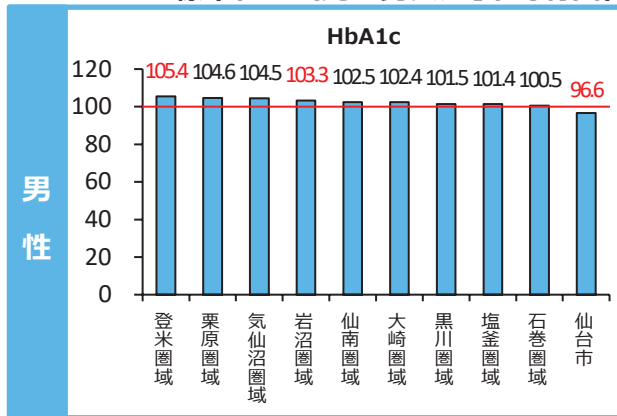
■標準化該当比とは

特定健診受診者の性別年齢構成は保険者により異なります。そのため年齢構成による差を取り除き、市町村間比較するために、平均を100として相対値で表したものの。標準化該当比が100より大きい場合は、平均と比べて出現割合が高いことを示しています。

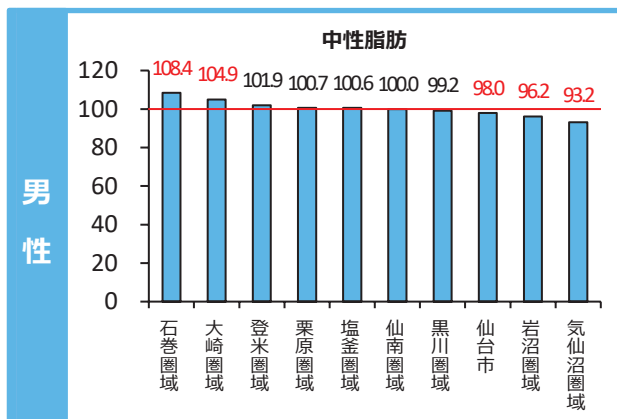
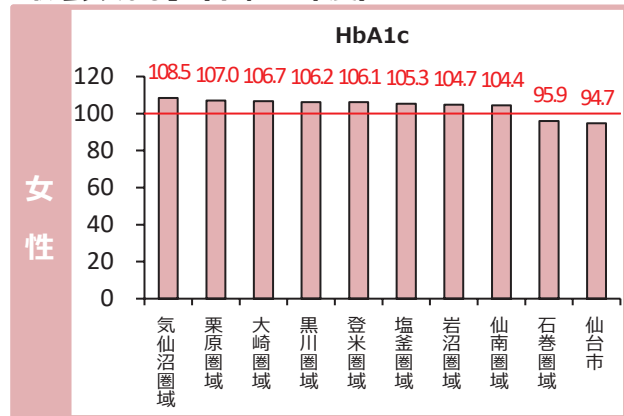
【圏域別の状況】特定健診有所見者

標準化該当比：男女別【市町村国保+協会けんぽ】（令和5年度）

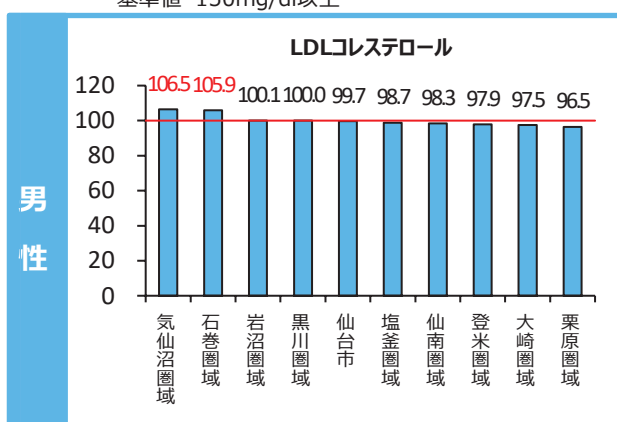
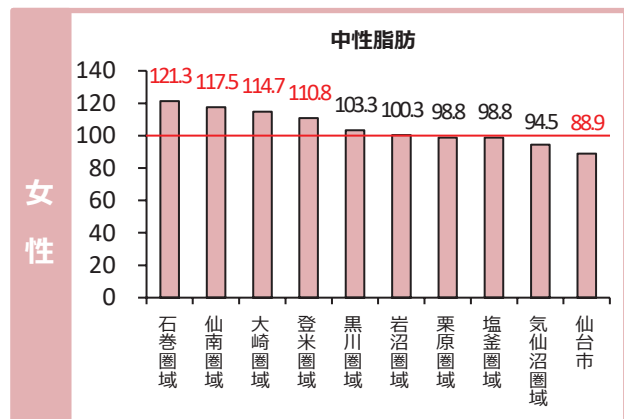
※40-69歳



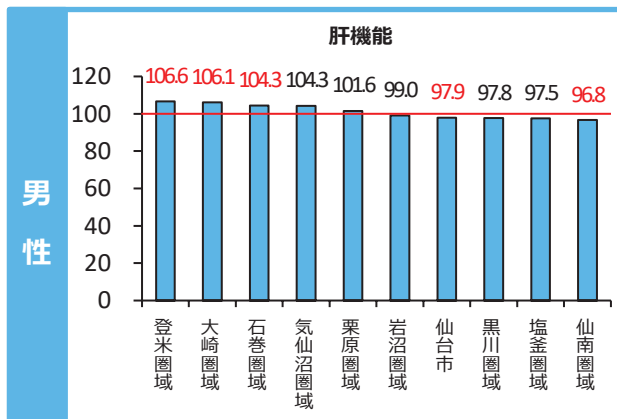
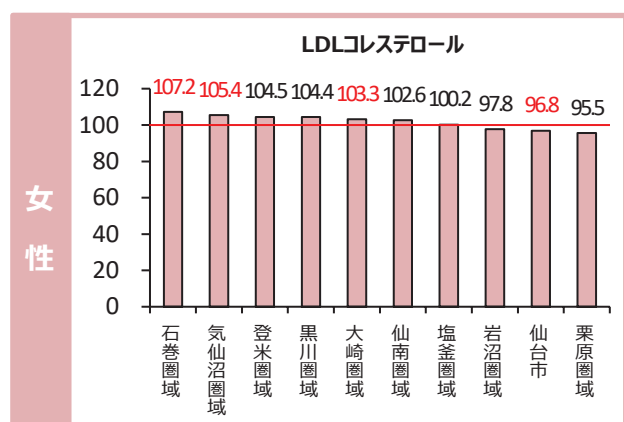
基準値 5.6%以上



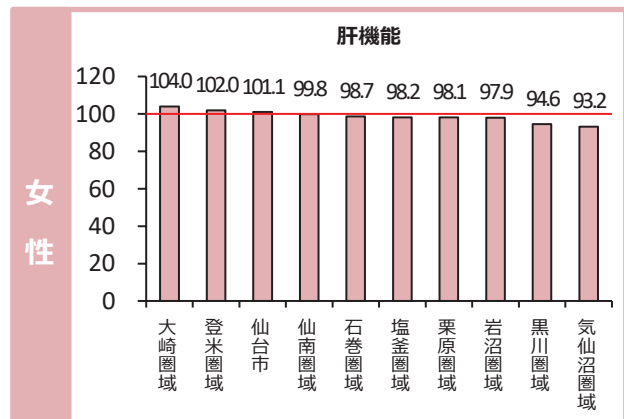
基準値 150mg/dl以上



基準値 140mg/dl以上



基準値 γ -GTP 51IU/L以上



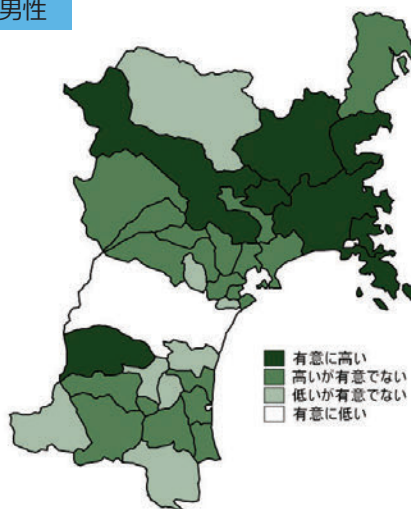
※赤字は有意であることを示しています。

【市町村別の状況】特定健診有所見別マップ：男女別【市町村国保+協会けんぽ】（令和5年度）

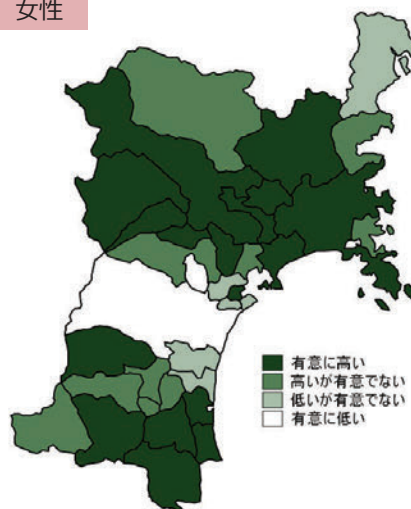
メタボリックシンドローム該当者及び予備群

※40-69歳

男性

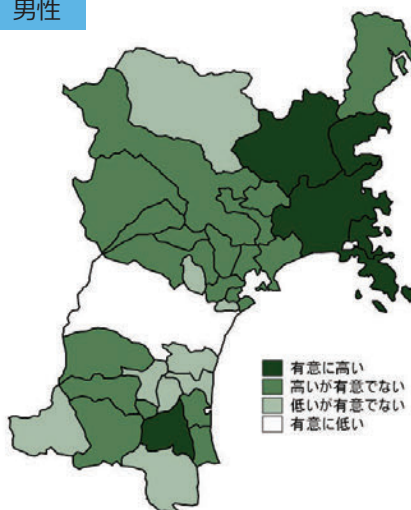


女性

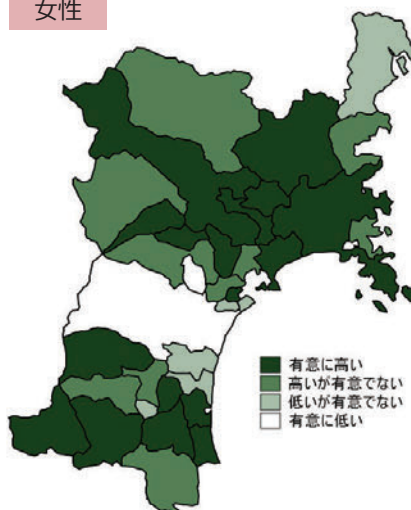


腹囲 男性：85cm以上、女性90cm以上

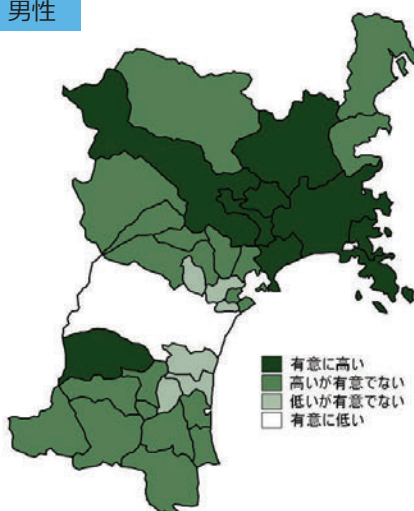
男性



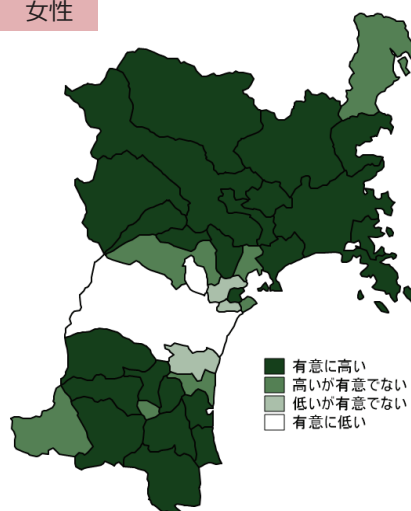
女性



男性



女性



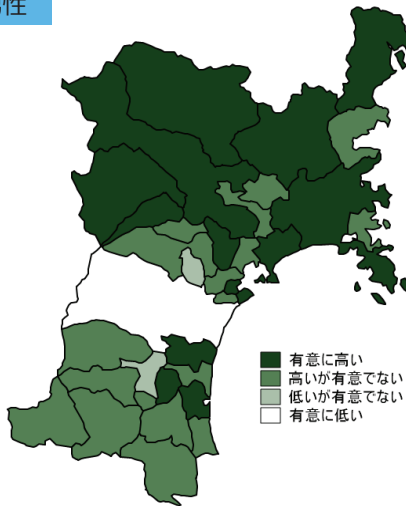
「有意に高い」 標準化該当比 > 100かつ信頼区間の下限 > 100 「高いが有意ではない」 標準化該当比 > 100かつ信頼区間の下限 ≤ 100
 「有意に低い」 標準化該当比 < 100かつ信頼区間の上限 < 100 「低いが有意ではない」 標準化該当比 < 100かつ信頼区間の下限 ≥ 100

【市町村別の状況】特定健診有所見別マップ：男女別【市町村国保+協会けんぽ】（令和5年度）

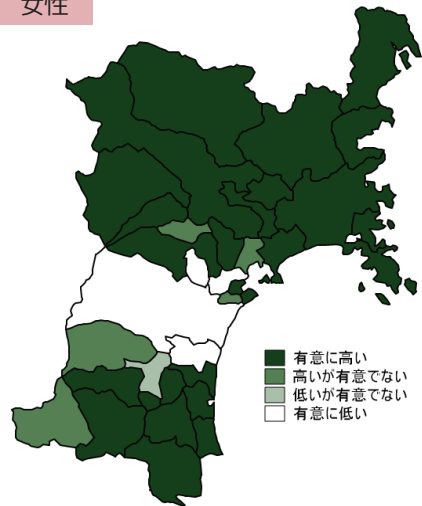
収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上

※40-69歳

男性

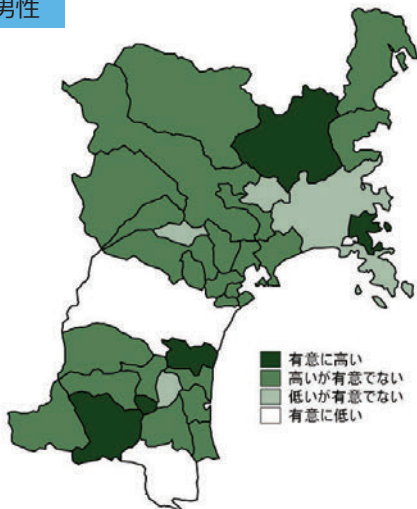


女性

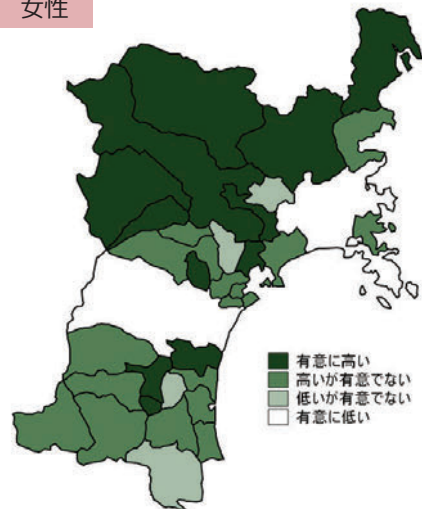


HbA1c 5.6%以上

男性

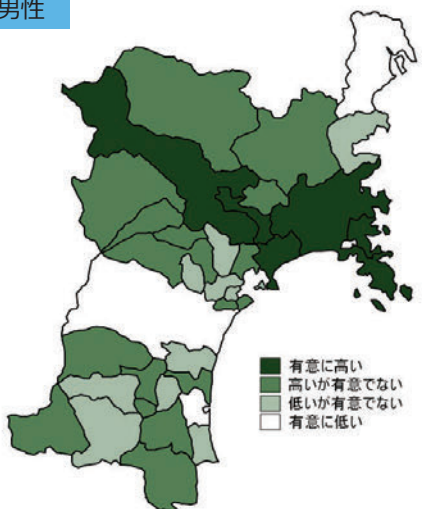


女性

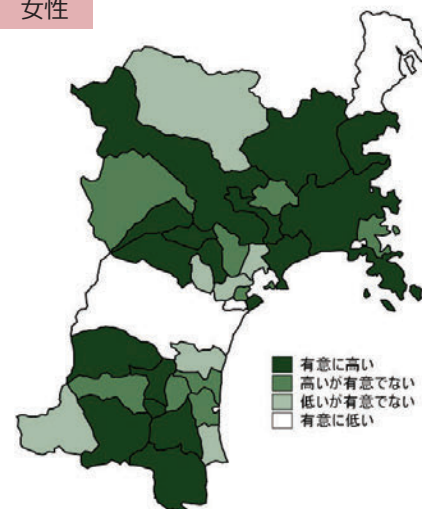


中性脂肪150mg/dl以上

男性



女性

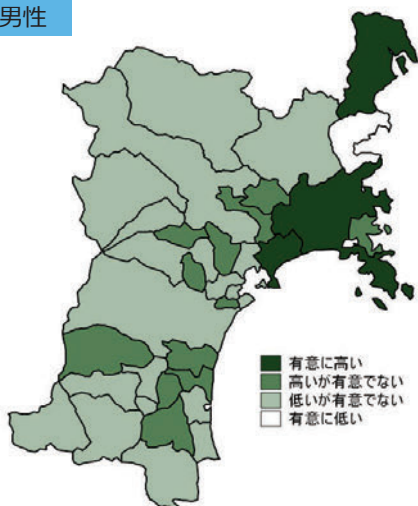


【市町村別の状況】特定健診有所見別マップ：男女別【市町村国保+協会けんぽ】（令和5年度）

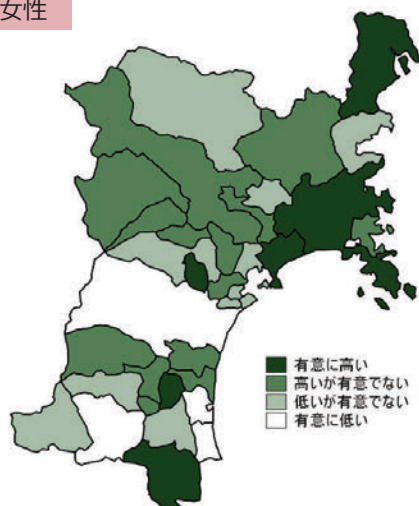
LDLコレステロール 140mg/dl以上

※40-69歳

男性

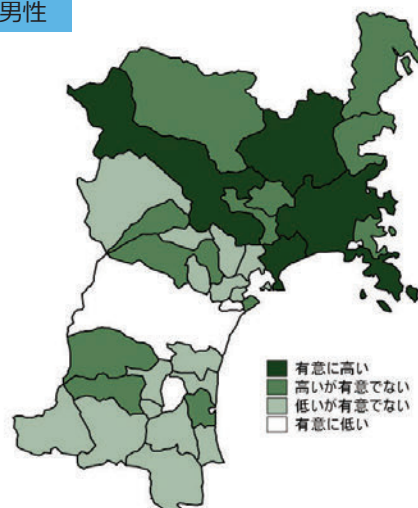


女性

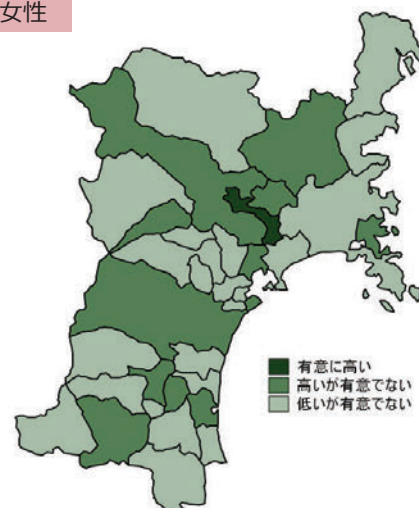


γ-GTP 51IU/L以上

男性



女性



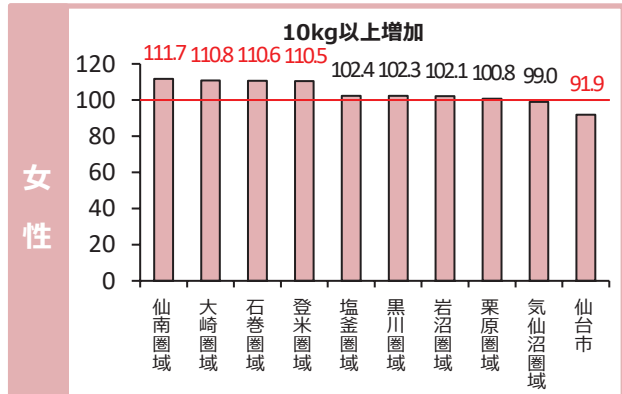
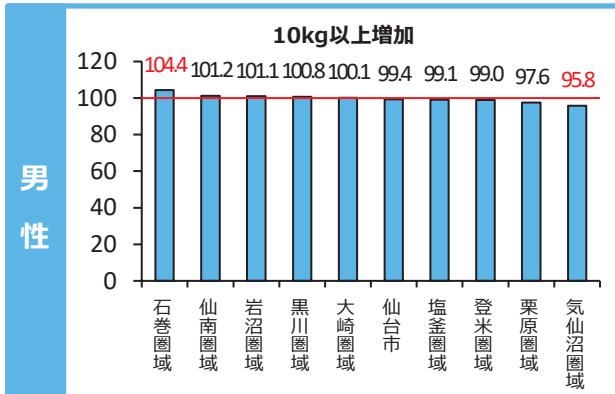
特定健診に係る圏域別のグラフや市町村別マップは、宮城県国民健康保険団体連合会（国保連、市町村国保）及び全国健康保険協会宮城支部（協会けんぽ）にデータを提供頂き、合算の上、標準化該当比を算出しています。（市町村国保 40-69歳受診者76,133人、協会けんぽ 40-69歳受診者240,415人の状況）

生活習慣の状況—特定健診質問票より—

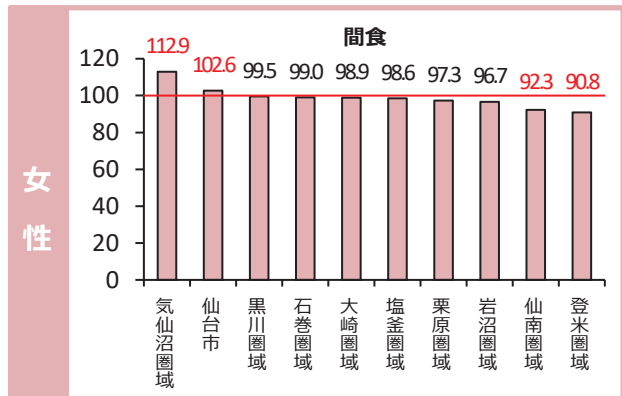
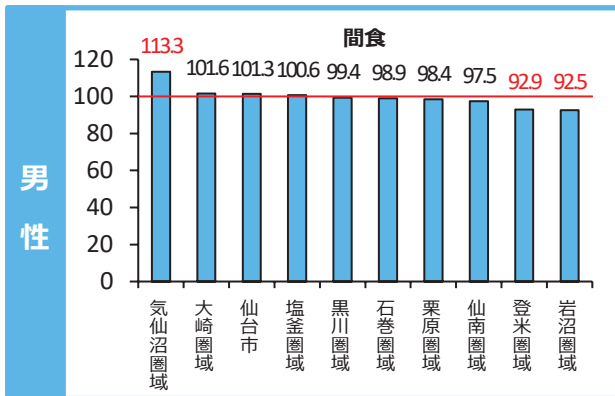
【圏域別の状況】特定健診質問票

標準化該当比：男女別【市町村国保+協会けんぽ】（令和5年度）

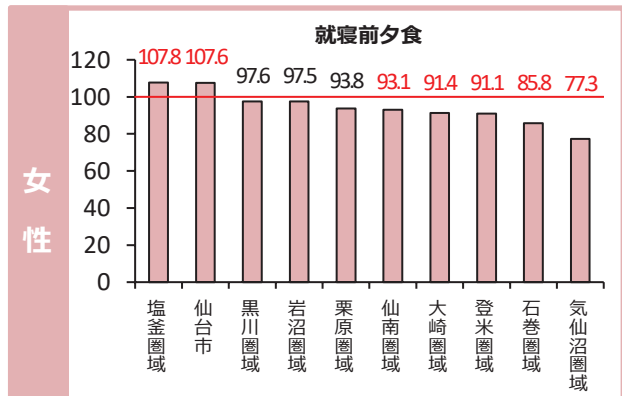
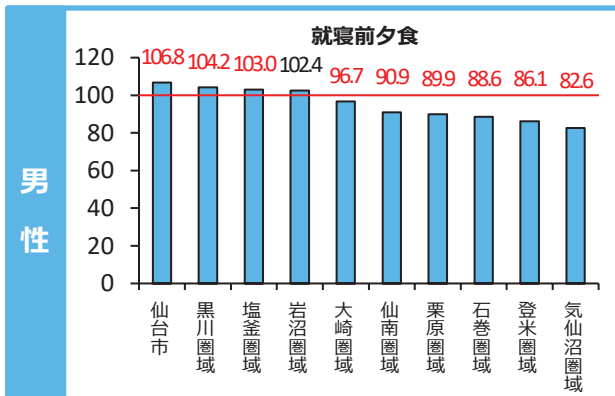
※40-69歳



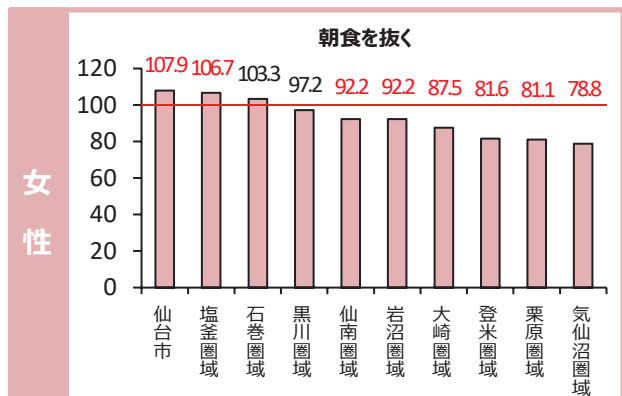
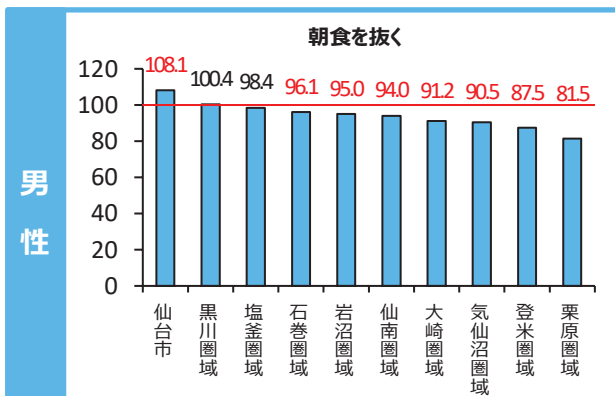
質問項目 20歳の時の体重から10kg以上増加している・・・「はい」と回答



質問項目 朝昼夜3食以外に間食や甘い飲み物を摂取している・・・「毎日」と回答



質問項目 就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある・・・「はい」と回答



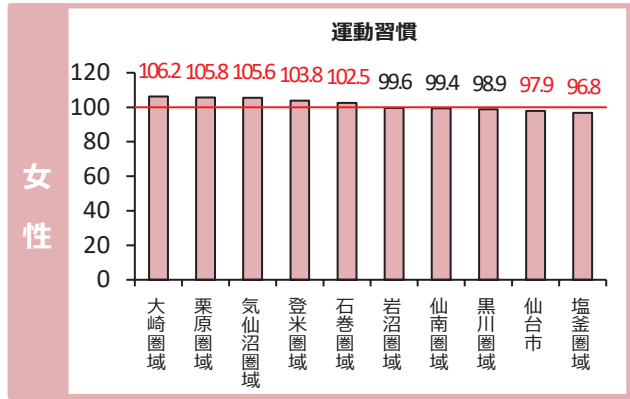
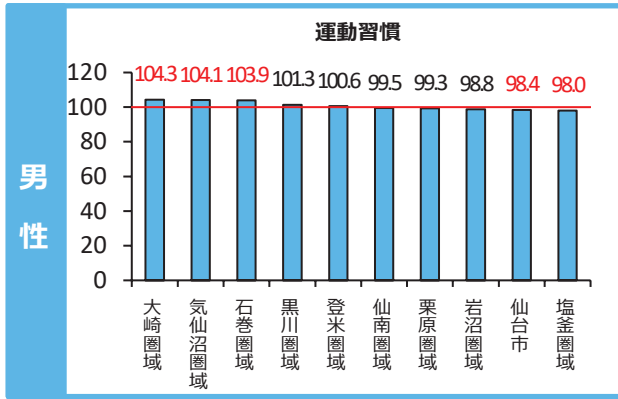
質問項目 朝食を抜くことが週に3回以上ある・・・「はい」と回答

※赤字は有意であることを示しています。

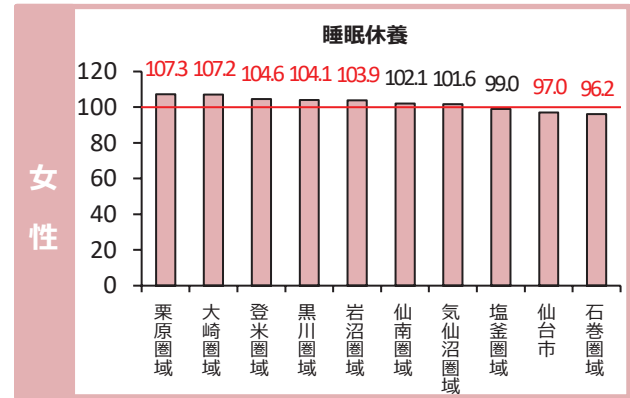
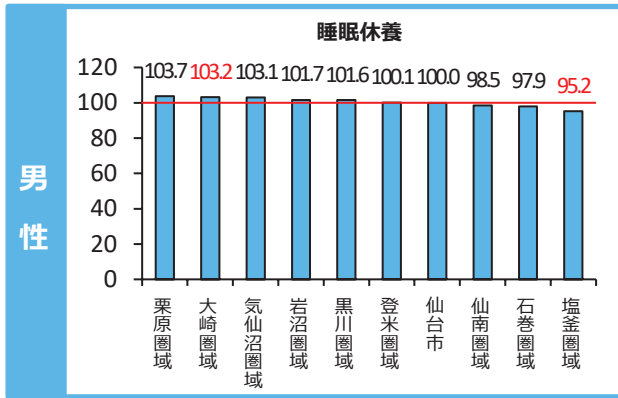
【圏域別の状況】特定健診質問票

標準化該当比：男女別【市町村国保+協会けんぽ】（令和5年度）

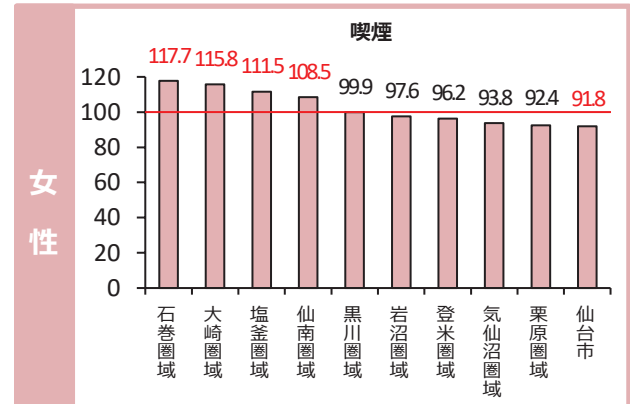
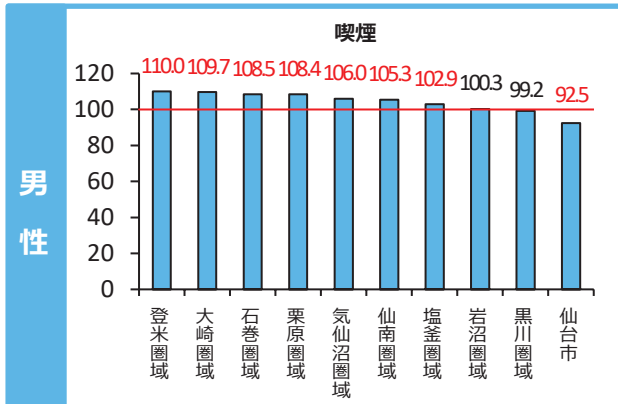
※40-69歳



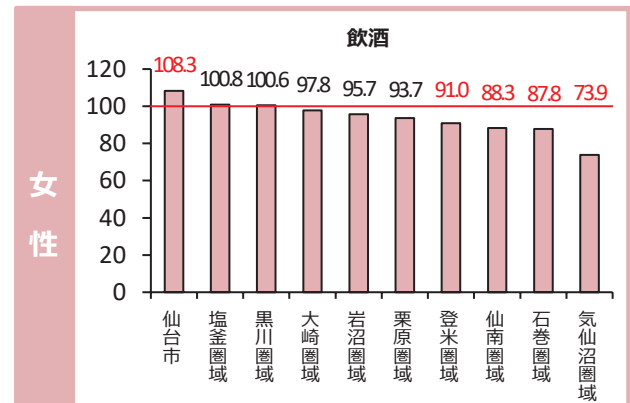
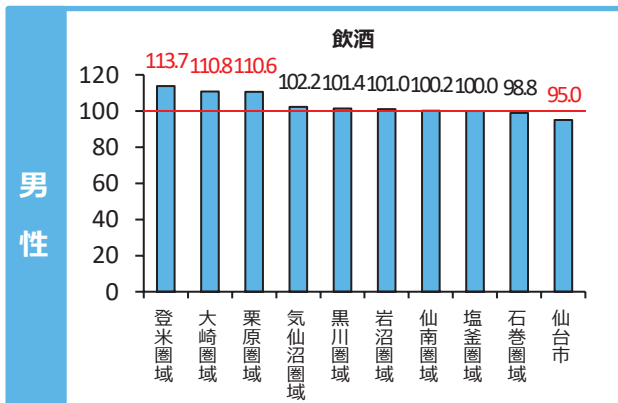
質問項目 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週に2回以上、1年以上実施している・・・「いいえ」と回答



質問項目 睡眠で休養が十分とれている・・・「いいえ」と回答



質問項目 現在、たばこを習慣的に吸っている・・・「はい」と回答



質問項目 お酒を飲む頻度・・・「毎日」と回答

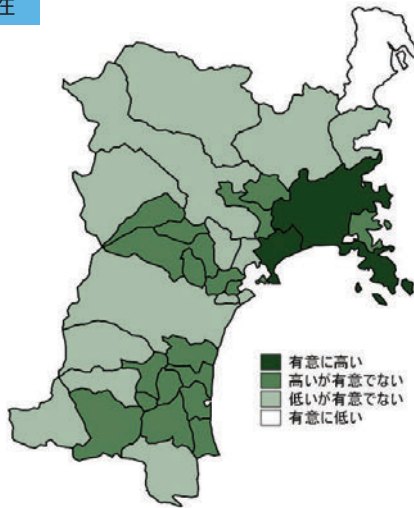
※赤字は有意であることを示しています。

【市町村別の状況】特定健診質問票項目別マップ：男女別【市町村国保+協会けんぽ】（令和5年度）

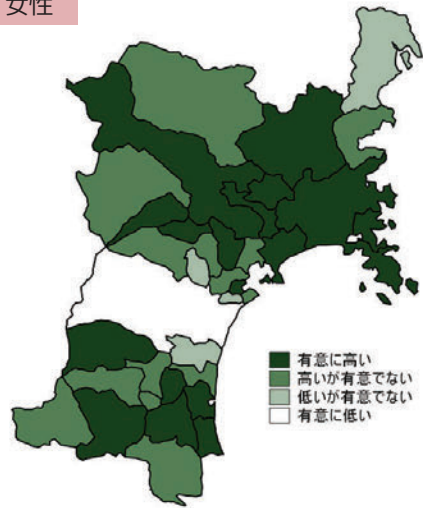
20歳の時の体重から10kg以上増加している

※40-69歳

男性

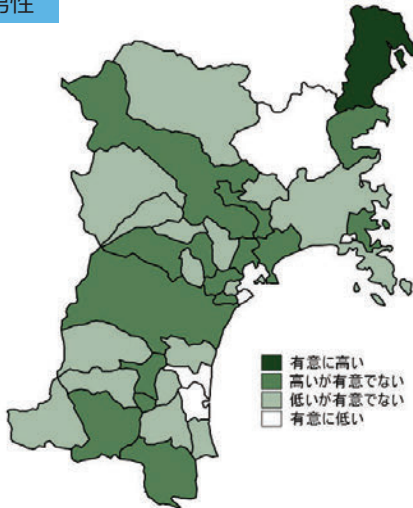


女性

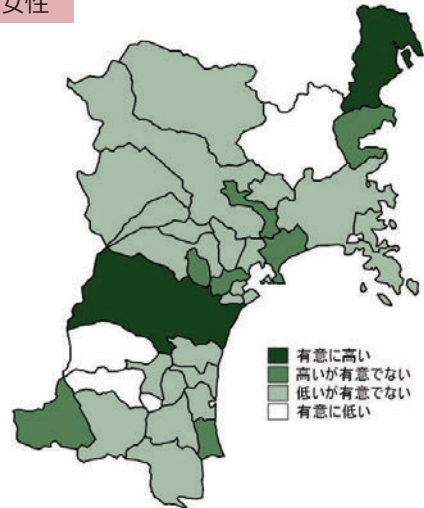


朝昼夜の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取している

男性

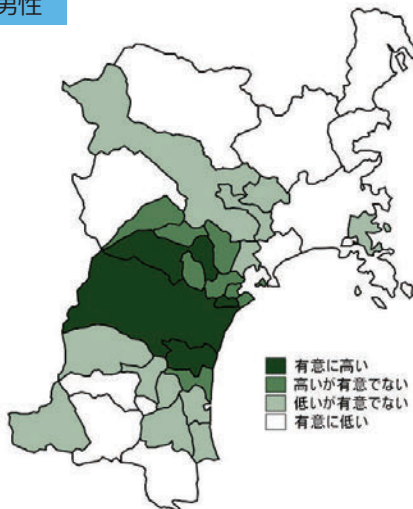


女性

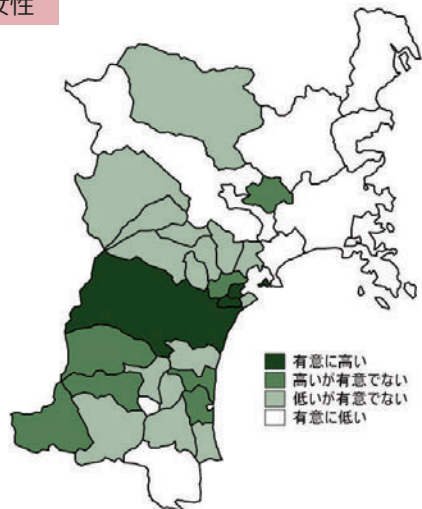


就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある

男性



女性



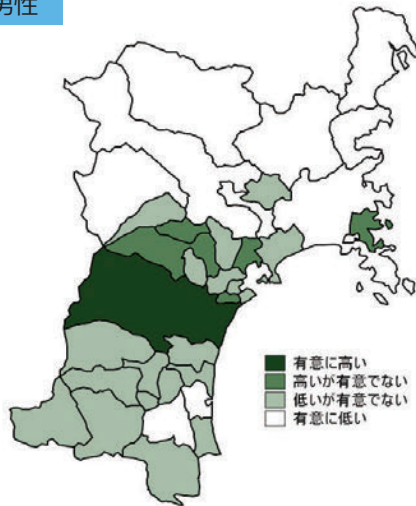
「有意に高い」 標準化該当比 > 100かつ信頼区間の下限 > 100 「高いが有意ではない」 標準化該当比 > 100かつ信頼区間の下限 ≤ 100
 「有意に低い」 標準化該当比 < 100かつ信頼区間の上限 < 100 「低いが有意ではない」 標準化該当比 < 100かつ信頼区間の下限 ≥ 100

【市町村別の状況】特定健診質問票項目別マップ：男女別【市町村国保+協会けんぽ】（令和5年度）

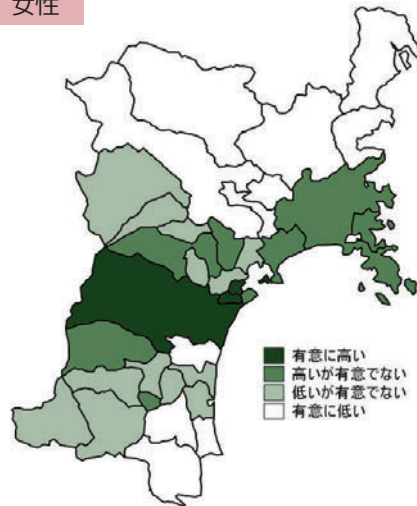
朝食を抜くことが週に3回以上ある

※40-69歳

男性

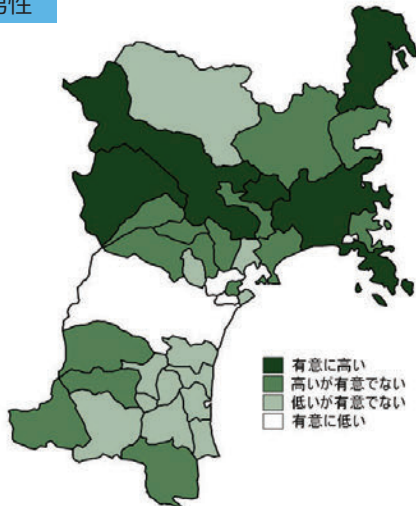


女性

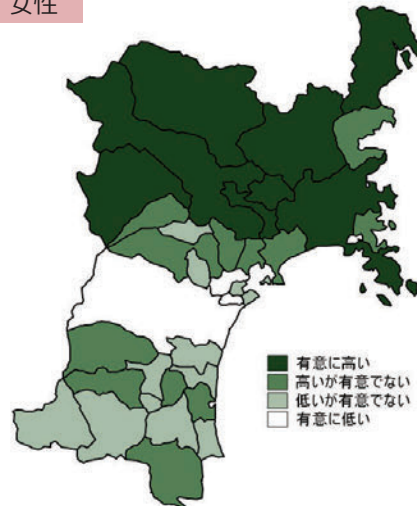


1回30分以上の軽く汗をかく運動を週に2回以上、1年以上実施していない

男性

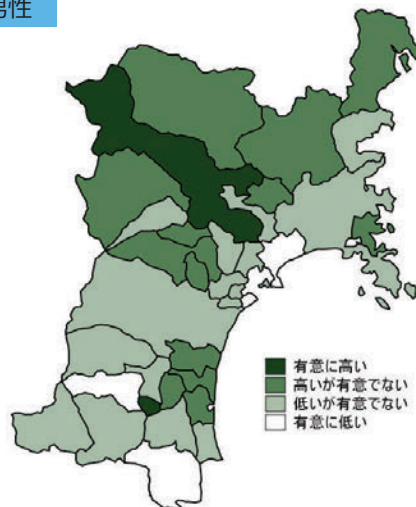


女性

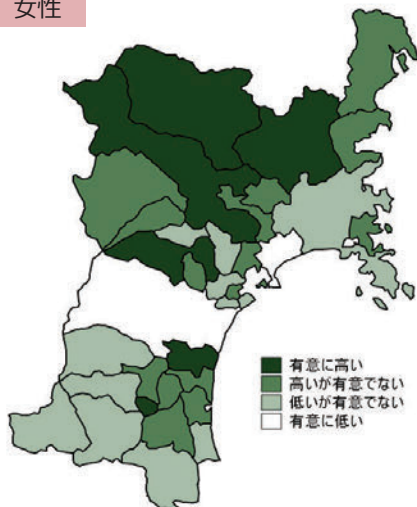


睡眠で休養が十分とれていない

男性



女性

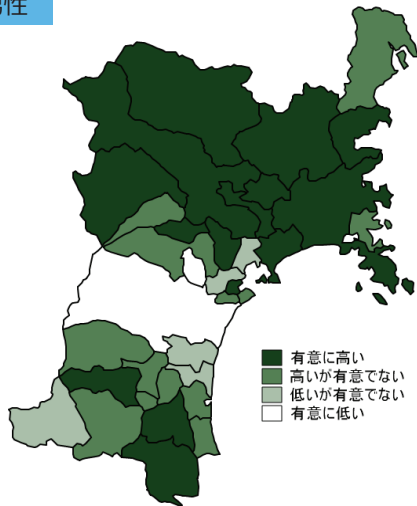


【市町村別の状況】特定健診質問票項目別マップ：男女別【市町村国保＋協会けんぽ】（令和5年度）

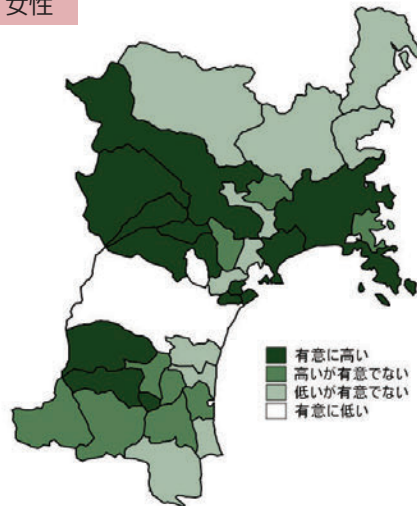
現在、たばこを習慣的に吸っている

※40-69歳

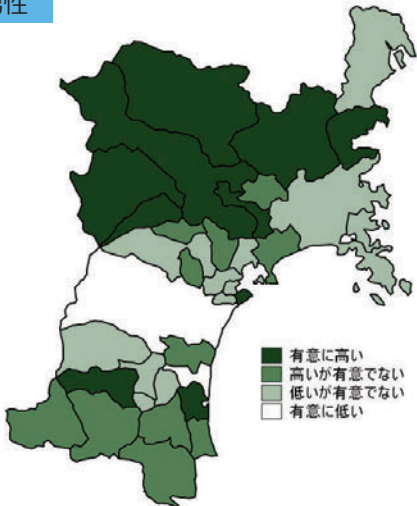
男性



女性

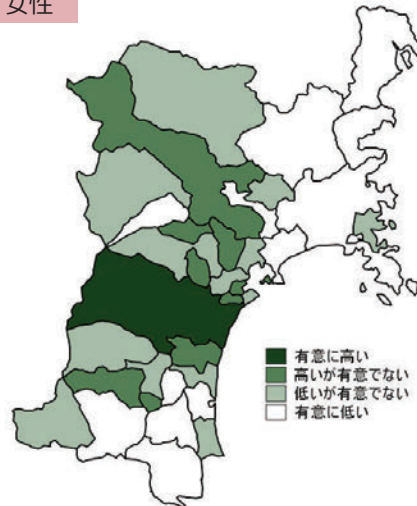


男性



お酒を毎日飲む

女性



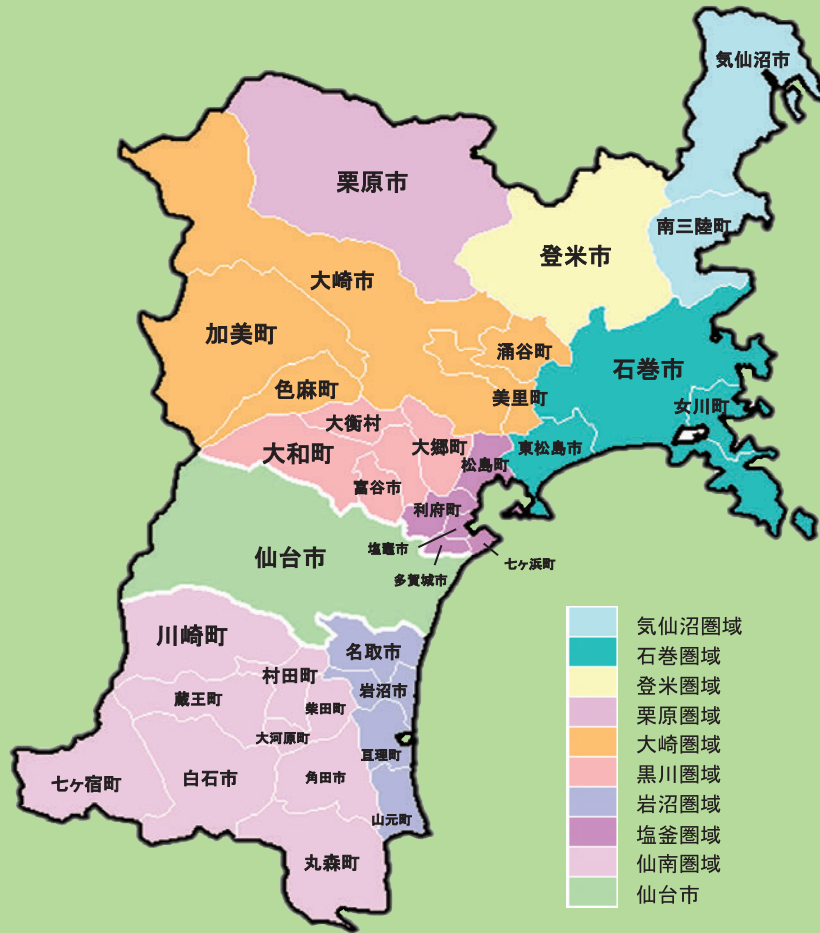
特定健診に係る圏域別のグラフや市町村別マップは、宮城県国民健康保険団体連合会（国保連、市町村国保）及び全国健康保険協会宮城支部（協会けんぽ）にデータを提供頂き、合算の上、標準化該当比を算出しています。（市町村国保 40-69歳受診者76,133人、協会けんぽ 40-69歳受診者240,415人の状況）

宮城県の取り組み

脱メタボ！みやぎ健康3. 15. 0（サイコー）宣言

宮城県民のメタボ及びメタボ予備群の割合は、特定健診の開始以来、全国低位を推移しています。そこで、県民の課題である「減塩あと3g！」の「3」、「歩こう！あと15分」の「15」、「めざせ！受動喫煙・むし歯0！」の「0」をつないだ「脱メタボ！みやぎ健康3. 15. 0（サイコー）宣言」をキャッチフレーズとして、減塩・運動・たばこ対策等を推進しています。





－ 令和7年度版 －

データからみたみやぎの健康 概要版

令和8年3月



宮城県保健福祉部健康推進課食育・栄養班
 〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1
 TEL 022-211-2637
 FAX 022-211-2697
 Email kensui-s@pref.miyagi.lg.jp